

東京ホームタウン大学 2024

ICTでつながる・動き出す



HITOTSUBASHI
UNIVERSITY



Social
Data
Science



東大先端研
Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

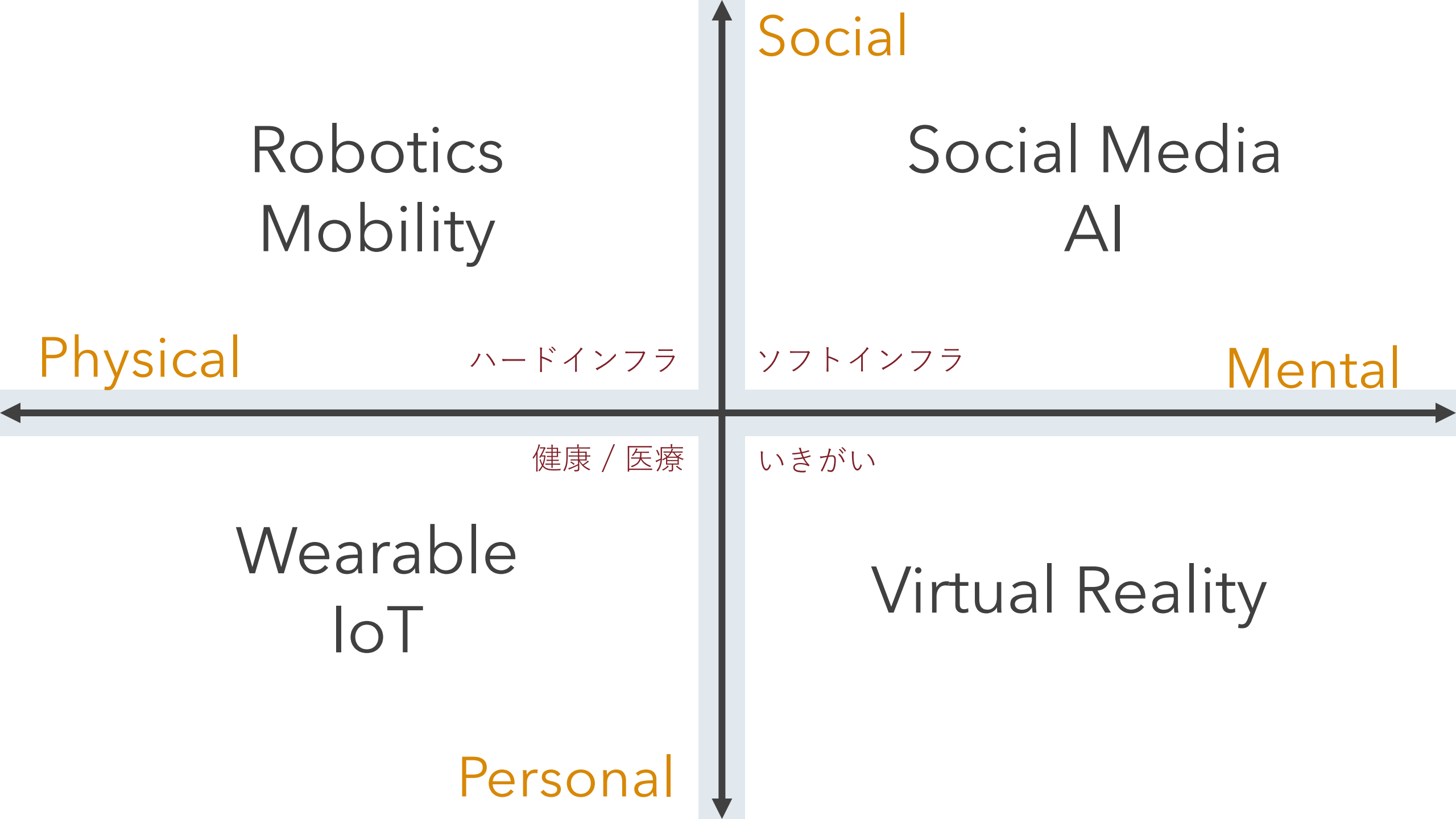
一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科 教授
東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授
檜山 敦



檜山 敦 ATSUSHI HIYAMA

一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科 教授

東京大学工学部卒。同大学院情報理工学系研究科修士課程修了、同大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。**人間拡張工学、複合現実感、ヒューマンインタフェース、ロボティクスが専門**。身体情報をエンジニアリングし、現実を拡張するシステム開発/技能伝承や、**超高齢社会をICTで拡張するジェロンテクノロジーの研究**、社会実装に取り組んでいる。「**ひとりの一生、100年**」と捉え、**自律流動型社会システム「GBER」**を研究。東京大学大学院情報理工学系研究科特任助教、同大学先端科学技術研究センター講師、特任准教授 (-2022.3)、理化学研究所革新知能統合研究センター身体知伝達技術チームリーダー(2017-2020)を経て、2022年4月より現職。東京大学先端科学技術研究センター特任教授を兼務。Laval Virtual Trophy、IFIP Accessibility Awardなど受賞。著書に『超高齢社会2.0 クラウド時代の働き方革命』（平凡社新書）。



Social

Robotics
Mobility

Social Media
AI

Physical

ハードインフラ

ソフトインフラ

Mental

健康 / 医療

いきがい

Wearable
IoT

Virtual Reality

Personal

Social

Physical

Telepresence



Social Participation



VR Training

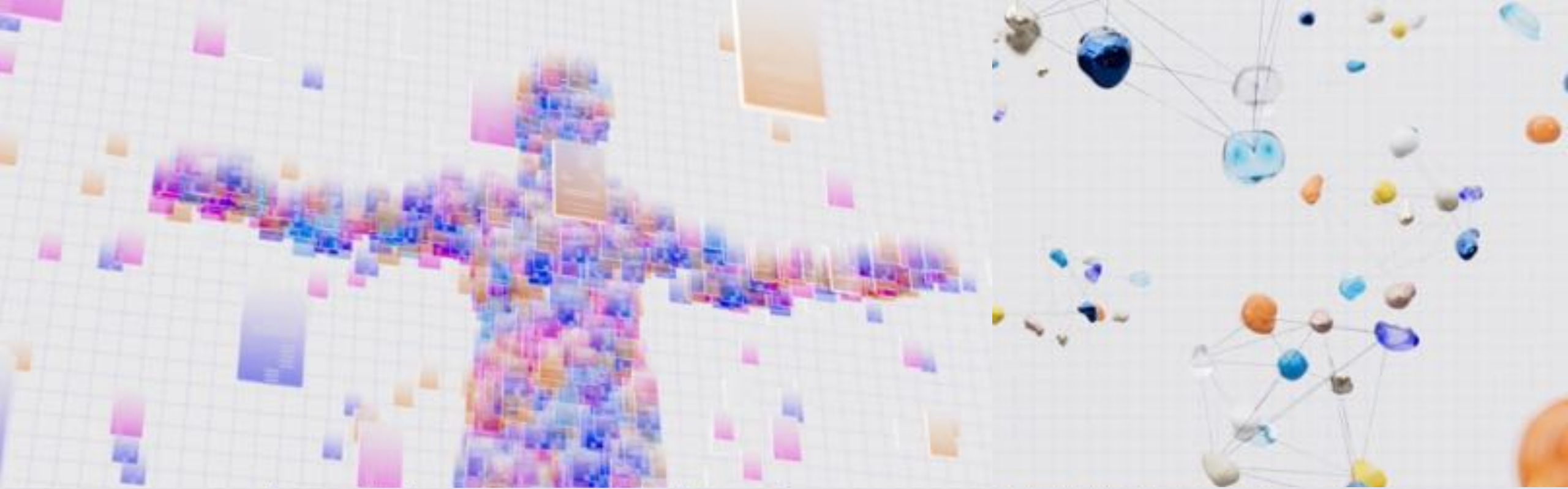
Virtual Traveling

Mental

VR吹き矢

Personal

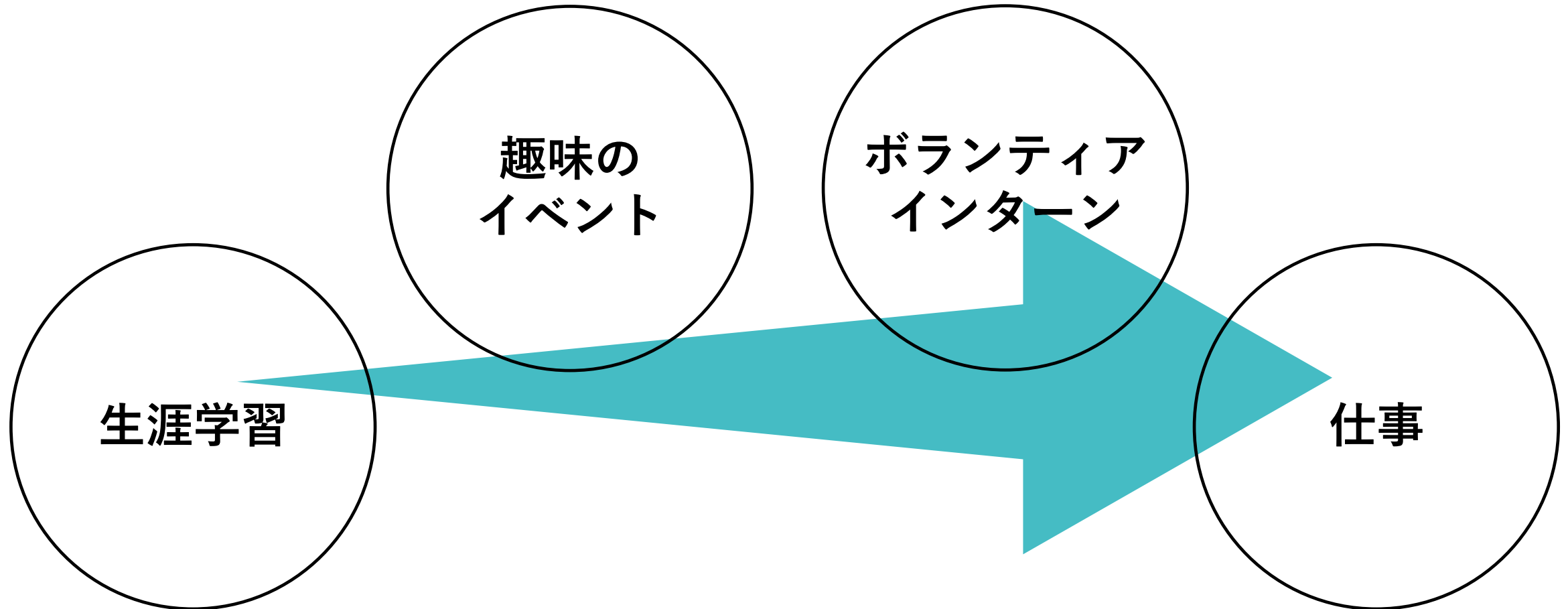




GBER

GBER is a social system that empowers people to dream,
grow, and have a sense of wellbeing.

社会参画の”**機会創造**”プラットフォーム



現役時代にあまり目を向けてこなかった住まう地域を知り、居場所を見つけていく

GBER: 地域活動へのマッチングプラットフォーム

Schedule



Location



Interest



地域参加したい予定発信

生活圏内の地域活動を検索

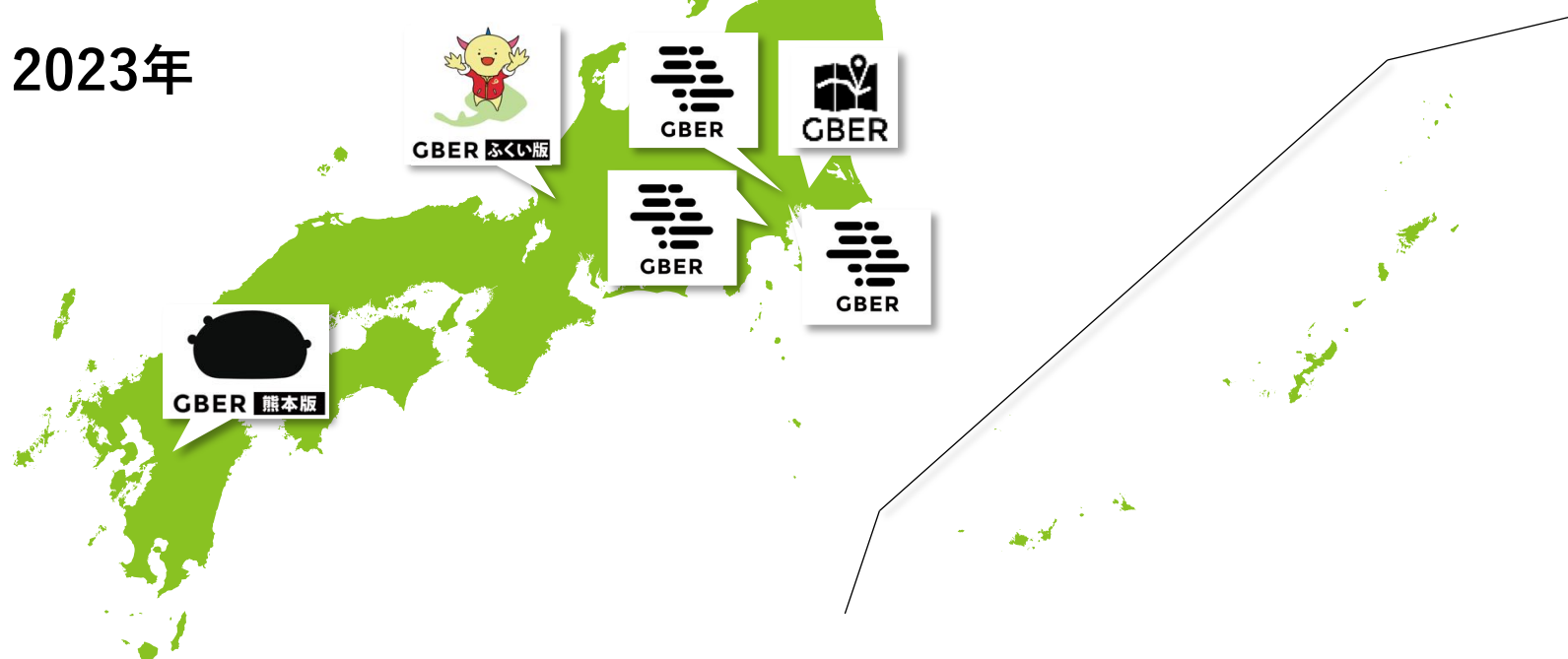
興味関心を手軽に入力

GBER活用の広がり

- 一般社団法人セカンドライフファクトリー（千葉県柏市）：2016年
- 熊本県（熊本県生涯現役推進地域連携協議会）：2019年
- 東京都世田谷区（世田谷ボランティア協会）：2022年
- 福井県（きらめきくらしのサポート・県民せいきょう）：2022年
- 鎌倉市（生涯現役促進地域連携協議会）：2022年
- 埼玉県和光市：2023年

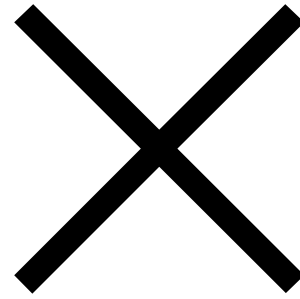


GBER@Kashiwa





GBER **熊本版**



地域
共創

Gathering **B**risk **E**lderly in the **R**egion



熊本地震 2016年4月



個々人、多様性・

小さな単位を見据えることから創造する社会システムへ



ソーシャル・データサイエンス学部教育と地域連携

- 国立市役所
- 国立市社会福祉協議会
- 国立市ボランティアセンター
- 国立市観光まちづくり協会
- 国立市公民館
- 東京女子体育大学
- くにたち未来共創拠点 矢川プラス
- くにたち農園の会
- UR都市機構
- BASE☆298
- ひらくスペース
- ジャズ&バー ハーバーライト
- くにたち富士見台人間環境キーステーション



© OpenStreetMap contributors



不動産ニュース 2023.10.30
https://www.re-port.net/picture_l/report/0000074076_06.jpg



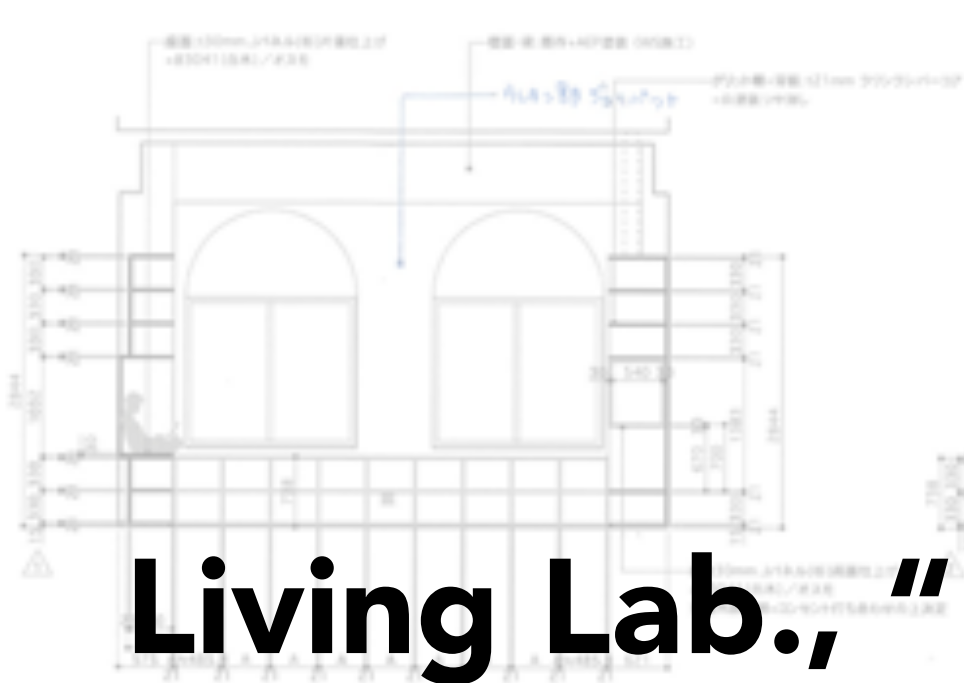
立川市社協地域福祉コーディネーター
 October 25 · 🌐

【一橋大学のソーシャル・データサイエンス入門IIの講義にお邪魔してきました👏】
 こんにちは👋第4地区(栄町・若葉町)担当の地域福祉コーディネーターの高橋です🍎
 10月10日に、一橋大学のソーシャル・データサイエンス入門IIの講義にて、BASE☆298の現状や課題を、学生の皆さんにお話させていただきました👏👏
 これからBASE☆298は、ソーシャル・データサイエンス学部1年生のみなさんのグループフィールドワークの受け入れをし、データサイエンスの視点からBASE☆298を分析してもらいます！
 BASE☆298にとっても、学生さんにとっても実りの多い機会になると確信しています🌱
 写真はBASE☆298実行委員の医療法人社団 東京石心会のお二人と👏
 素敵なキャンパスに心が躍りました😊👏
 ※BASE☆298は、若葉町団地バス停前でボランティアが運営しているコミュニティスペースです。Instagramはこちらから👉
https://www.instagram.com/base_nikuya/

国立市ボランティアセンター
 10月24日 · 🌐

先日課題案の提供をした一橋大学の檜山先生のSocial Data Scienceの授業の生徒さんが、ボランティアターの課題に関心を持って、ヒアリングに来て下さいました。
 1時間ほどの話し合いの中で、すでに気になるポイントなど浮かんでいるようでした。
 今後が楽しみです。
 (伊藤)





Living Lab., "Kunitachi"



HITOTSUBASHI UNIVERSITY



Social Data Science

